

# 新しい南三陸の 過去と未来をつなぐ 中橋

祝 南三陸町震災復興祈念公園全体開園並びに中橋開通



## 南三陸町震災復興祈念公園全体開園と 中橋が開通しました



夜間照明に照らされた中橋

### 地域とともに、心の架け橋に

南三陸町の特産であるFSC認証の南三陸杉をふんだんに利用したウッドデッキとウッドゲート。木のぬくもりを感じるとともに、開放感ある南三陸の海と空を同時に感じることができます。また、震災前の中橋擁する八幡川は、灯籠流しやかがり火祭りなど地域行事の大切な場となっていました。中橋含む復興事業の完成を機に、新たな住民の心の拠り所となれるよう地域行事の再生にも努めます。

### 南三陸町震災復興祈念公園

追悼・継承・感謝そして未来を想像する協働の場

東日本大震災およびこれまでの自然災害による犠牲者を悼み（追悼）  
震災の記憶と教訓を風化させることなく次世代に受け継ぎ（継承）  
大自然への畏敬とともにその豊かな恵みを讃え（感謝）  
復興を成し遂げた町の未来の姿を人々と共に想い描く（想像）  
そのための場を人々の協働によって創りつづける。

### 構造諸元

橋長	80.6m (支間長: 79.1m)
幅員	(左岸) 約12m ~ (中央) 8m ~ (右岸) 約11m
荷重	群衆荷重3.5kN/m <sup>2</sup>
上部工	単純鋼パイプトラス橋
下部工	逆T型橋台@2基
基礎工	現場打ちCo杭φ1500×6本@2基
床版	ウッドデッキ床版



### 事業概要

面積	約6.3ha (うち緑化面積: 約4.5ha)
主要施設	園路、広場および築山、修景施設(植栽、張芝、モニュメント)、休養施設(ベンチ、パーゴラ) 便益施設(トイレ、駐車場、水飲み場)、管理施設(サイン、照明など)
事業費	約17.1億円



Photo(C)J.C.Carbonne

町の復興計画の当初より協力いただいた隈研吾氏。町の歴史・文化や地域の声を取り込みつつ、風景に溶け込む、軽やかなデザインに仕上げました。

建築家 隈 研 吾

南三陸町の復興の象徴として中橋をデザインしました。中橋を通じて、様々なものがつながれます。まず、旧防災対策庁舎のある復興祈念公園とさんさん商店街がつながれます。川を渡って、結界を超えて、祈りの空間へ向かう橋は祈りの橋でもあります。太鼓橋のカーブは、聖なる橋の象徴であると、古来言い伝えられてきました。また、支柱の連続は、聖なる空間へと向かう千本鳥居でもあります。

南三陸町長 佐藤 仁



本町の震災復興計画におけるシンボルプロジェクトである「南三陸町震災復興祈念公園」が、全体開園いたしました。

将来を担う子どもたち、さらには、その先の世代へ、震災の記憶、自然災害の脅威を語り継いでいく場所として、町民の一人ひとりが自然に足を運び、集い、そして、母なる海を前に花を手向ける、そのような景色が、ここに永久に続くよう、望んでおります。震災復興祈念公園の全体開園と同時に「中橋」が完成し、開通となりました。新しい「中橋」は、本町の賑わい・交流の拠点「南三陸さんさん商店街」を中心とした市街地と「南三陸町震災復興祈念公園」を繋ぎ、町内外の皆さまの心を繋ぐ橋であります。皆さまからいただいたご恩に報いるためにも、復興を遂げる町において、新たな歩みを進めてまいります。